

## 2010年3月5日 愛知教育大学 アンケート

自分が興味を持っているそれぞれの、接点がないように見えるが、図で考えると全てつながるような気がします。私は図を昔から書いていました。まだまだ練習が足りないことを実感できました。またいつか会いましょう。そのときは先生を越えていきたいです。

書きたいことを小さな紙に書いて構成するというやり方を教わっていたが、図解というのはそれにプラス図の要素ということだなと思いました。

大変刺激を受けました。文章に図を組み合わせるだけで、頭に残る情報量が違ってくる。図の流れは社会科にピッタリだと思い、ぜひ取り入れていきたいです。

とても難しそうな世界情勢が、1枚の紙におさまっているのを見たとき、とてもびっくりしました。そして更にその分かりやすさにも驚きでした。実際に図にしたり文章になおしたりすると、脳が働き、文章・図を組み立てる難しさを感じた。文章を考えたり、読んだりすることがとても楽しくなりそうです。

図が重要であることが良く分かりました。

社会科とつなげて理解しようと思いました。図解の方法を聞いていて、まず板書に使えると思いました。論文演習では、なかなか質問を見い出せないでいたので、図でメモし、つじつま合わないところを見つける方法を実践してみたいと思いました。

文章の前に図解で考えるというのは、将来重要となる能力なんだろうなという事は理解できた。

非常に興味深く面白い授業でした。本屋で先生のお名前をその時著作で見たような覚えがあります。図は相関図に近い。図解されていると、理解にかかる時間が短いことを実感し、新鮮な感覚を覚えました。すっかり久恒教のとりこです。

図にするのは本当に頭を使うことだなあと感じました。塾でアルバイトをしていますが、自慢しながら図を勧めようと思いました。自分自身も図を書くことを勉強して、将来教員になったら実践したいです。

自分の頭にある構造を図で視覚化するだけで、本当に分かりやすいと感じました。これまで受験などで様々な勉強をしてきましたが、もう少し早く知っておきたかったです。HPの図解はビックリしました。また個人的に見てみたいと思います。